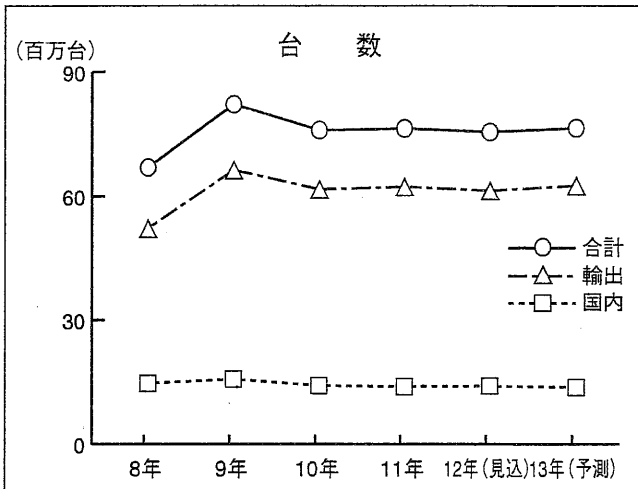
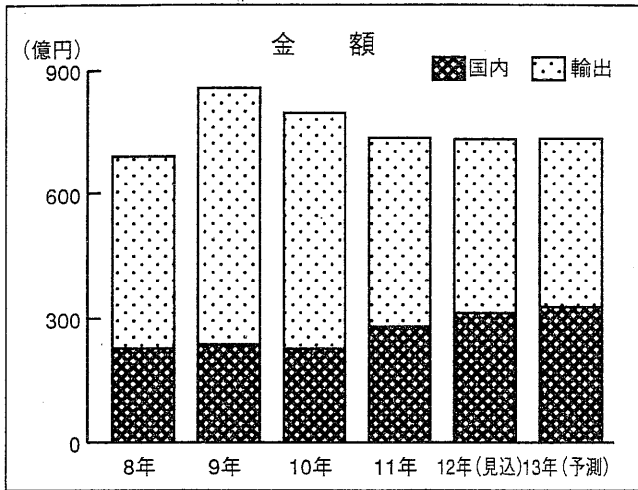


電卓



《国内需要》

- 1) 2冊以上の辞書の内容を収録した容量の大きさや大画面による文字の読みやすさで、生活に便利なツールである電子辞書が普及価格帯で発売されるために、大幅な伸びが今後も期待できる。
- 2) 一般電卓は、成熟商品であるため、今後の伸びは期待できず、底堅い需要が予測される。

《輸出需要》

- 1) 数量的には大きな変化もなく、安定した需要があると予測される。
- 2) 海外メーカーとの競合激化により、海外生産品の単価の下落傾向が継続すると予測される。
- 3) 低価格な関数電卓の構成比が増えることにより、需要拡大が期待される。

注) 平成9年より、統計参加会社が増加し、カバー率がアップした。

(千台、百万円、%)

		平成8年 (1996)	平成9年 (1997)	平成10年 (1998)	平成11年 (1999)	平成12年 (2000)見込み	平成13年 (2001)予測
国内	台数	14,754	15,735	14,190	13,962	14,080	13,800
	前年比	96.4	106.6	90.2	98.4	100.8	98.0
輸出	台数	52,183	66,352	61,671	62,295	61,340	62,570
	前年比	92.4	127.2	92.9	101.0	98.5	102.0
合計	台数	66,937	82,086	75,861	76,257	75,420	76,370
	前年比	93.2	122.6	92.4	100.5	98.9	101.3
金額	金額	22,843	23,814	22,802	28,048	31,300	32,800
	前年比	86.6	104.3	95.8	123.0	111.6	104.8
輸出	金額	46,377	61,927	56,904	45,605	42,000	40,700
	前年比	97.2	133.5	91.9	80.1	92.1	96.9
合計	金額	69,220	85,741	79,706	73,653	73,300	73,500
	前年比	93.4	123.9	93.0	92.4	99.5	100.3

		1998	1999	2000	2001	2002
技術動向	画面の大型化	→	→	→	→	→
	関数電卓のグラフ表示	→	→	→	→	→
	税率計算機能	→	→	→	→	→
	検算機能	→	→	→	→	→
	ペンタッチ電子辞書	→	→	→	→	→
	坑菌電卓	→	→	→	→	→